



コートとり当番担当クラブ

4月: 5月分のコート: 美住B

5月: 6月分のコート: 恩多B

6月: 7月分のコート: 青葉B

発行責任者 柳 利夫
住所 東村山市萩山町
5-6-26-301
Tel. 0423-92-8808
編集責任者 川村英明

昭和57年度 各クラブ役員決まる

クラブ名	東住クラブ	恩多クラブ	本町クラブ	青葉クラブ	美住クラブ
会長	長井庸二	中根一夫	米沢行夫	米田寛	河野好明
副会長	広瀬裕	森田易言	佐藤多喜男 桜井宣行	藤岡信照 高瀬欣也	石黒末広
会計	酒見利率	山口悦子	田畑ヤイ子	斉藤みづゑ	桑原まさ子
技術	長井庸二 山口迪郎 木村宏 笹野井孝	武谷直也・吉永洋司 武谷千枝子・中根一夫 増沢一浩・松井貞二 山本豊・荒瀬彦・青木雄	米沢行夫 桜井宣行	米田寛 藤岡信照 高瀬欣也	本保俊昭
広報	川村英明 木村宏	菊地裕 上野一彦	池田博 佐藤多喜男	長谷川順三 友利秀美	河野宏子 本間光昭
コートA とりB コートC	小泉誠 清水典子	中根和子 松本美智子 吉永基子	三安利寿 伊野光子 棚田玲子	萩野洋子 江原由孝	翠川明 石黒安子 月森章子
部員数	55	90	82	59	63 (349)
休部員数	9	8	6	10	10 (43)
会員合計	64	98	88	69	73 (392)

昭和57年度硬庭連行事予定

- 団体戦
期日 4月18日(男子), 25日(女子)
29日(予備日)
4-4編成 1クラブ 1チーム 5ダブルス
- 都民大会
春の選抜大会の結果を重視する。
(今年は日曜日の可能性が強い)
- 第2回太田杯東京都市町村対抗庭球大会
春の選抜大会の結果を重視する
- 柏崎戦
今年は先方に訪問する年です。選手の個人負担をできる限り少なくしたいと思います。
連盟からの負担を許す範囲で増やす。
親睦が中心なので、できるだけ多くのクラブから参加するようにしたい。
今年は、男子16~18人、女子6~8人程度派遣できればと思います。
- 指導者講習会
本井氏の都合がつかず、今年は森さんに指導者派遣を頼みました。
現時点では、日程、指導者など確定しておりませんが、今年中に土、日の2日間、必ずやるようにしたいと思います。

尚、費用については、今迄よりも高くなる事が予想されますので、各クラブで、選抜者にできる限り補助してください。
連盟としては、ボール代、コート代は負担します。

6 秋の大会

種目	募集			期日	コート	試合方法
	上限	推薦	ワイルド			
男S 選抜	48	32	16	9/12	久米川	①1セットマッチ 6-6, 12ポイント ダブルレック ②決勝戦のみ 8ゲーム先取
女S 選抜	24	16	8		コート	
男D	124			9/15	久米川 コート	①1セット マッチ 6-6, 12ポイント ダブルレック
女D	64			9/19		
混D	72			9/23		
社S	16			9/12	大沢 コート	
社D	16			9/15		

- 参加資格は、在住者、在勤者に限る。
- 参加費 連盟加盟者 D1000円, S 800円
連盟非加盟者 D1200円 S1000円



私とテニス (50)

私のところへ、「私とテニス」の原稿の依頼があったから、なんと、もう1ヶ月以上過ぎてしまいました。今までは、読者側だったので、どんなことを書けばいいのか――。

私がテニスを始めてから、3年目に入ってしまった。年月だけが技術に関係なく過ぎてしまった感じがします。初めてラケットを握った時の印象は、「わりに重たいな」というものでした。

素振りから教わり、いざボールがくると――みごとに空振り。まず、ラケットに当てることから始まり、フォームも何度も直され、そして、4月ぐらいまでには、土・日曜日に練習したので、どうやら、ネットを越すようになりました。けれども、それ以後、行く回数も減ってゆき、今もなお伸び悩みの状態です。

その上、最近ある中年男性に、コートに行くたびにイヤミを言われ、私の心は、いたく傷ついているのです。けれど、そんな事でテニスを止めることはできません。コートに通うようになって以来、テニスの腕が上がったというよりも、口が達者になったというのが、実情なのです。

では、私にとってテニスの魅力とは何か？初めはボールがラケットにあたる時の音の軽快さにあこがれたものですが、今は、技術追求というおもしろさ（というよりも苦しさ）にとりつかれているのです。

初めは、ネットを越すだけで満足していたのが、今は自分に対して自分が求めるレベルが上がってきて、今度は、あの打ち方ができるようになると思うのです。今まで打てなかったボールが打てる。これがたまらないのです。

現在、日曜日しか練習に参加できないので、残念をななりません。今の私の課題は、フレイスマントで、自分の思う所へ返すことです。が、むずかしいの一言です。

ましてや、2週間ぶり、3週間ぶりなんてなってしまうと全くダメになってしまう私なのです。

どうにかならないのでしょうか？誰か助けて下さい。常にスラングな私を!!

話を少しテニスとは離して、私自身のことについて書いてみようと思います。

私は東京生まれの東京育ちの江戸っ子です。しかし、この東村山へ来てから、やや東京育ちというところに疑問を感じます。一般の常識では、東京といえは、23区を指しているようですから――。東京の田舎育ちというべきでしょうか？

小さい頃の遊び相手は、男の子が多く、夕方までよく遊びました。おてんば、という言葉がピッタリの私だったようです。（もちろん今は違います）

中学校時代に卓球を1年間やり、あとは授業以外のスポーツは、あまりやりませんでした。

高校に入って、どういはずみか、茶道部なるものに入り、それ以来、茶道部は笑いのうずと化し、やや品位を落したように感じられます。私が茶道部だなんて誰も信じてくれず、高校の友達も、すっかり私が茶道部だったということをおぼえているのです。

私は、文化祭には着物をきてがんばったというのに――。あれから何年たったのでしょうか。

忘れました。私には、現在と未来あるのみです。未来へ向かって、今日もひたすら前進してゆきたいと、いつも思っています。これからよろしく!!

〈テニス随想〉 〈2〉日本人の血は



大田 芳郎

（敗戦後、アメリカ兵からチョコレート等を投げ与えられていた子供達に、「二世の子供でもこの通り」と励ました国定教科書で全国の子供達に読まれた文の要約）

私のテニス初陣は対メキシコであった。メキシコチームにはウィンフルドンダフルス優勝のアメリカ選手キンゼイが、メキシコ婦人と結婚したとかするとか言っていた。

日本協会は代表資格がないと抗議したが「キンゼーが出たら負けるからだろう」とゴタゴタしているうちに、試合の日になった。

試合地は、キンゼイの生まれたセントレイスである。その時、私共の練習を毎日見に来ている二世の少年兄弟がいた。

「キンゼイは、此の町の人だ、君達はどちらに応援する」と質ねると「オフコース、ジャパン、サー」との答え。

試合の日となり、私はニセット先取されてピンチに追いこまれた。

その時、スタンドの一隅で目を輝かせて日の丸の小旗を振る二人を見た。

「よし！頑張らねば」と思うと勇気百倍。続く三セットで逆転。

四時間余の接戦の初陣で大敵を倒した。そして、日本は勝った。



春季市民大会の男(D)、女(D)の選抜について

ガット3月号でお知らせ致しました春季市民庭球大会の種目に、男(D)、女(D)が選抜とありましたか。これは、年ごとに出場申込者が多く、その結果、5面という限られたコートでは、試合の消化に多くの日程を必要とする（昨年の場合、春・秋市民大会に要した日数は12週でした）。

この試合の結果を参考にして、都民大会・東京都市町村対抗庭球（第2回大田杯）への市の代表選手を決めるために、この様な方法にしました。

コート使用の変更

4月18・25・29日は団体戦のため使用できません。

自己紹介

- 1 筑紫明天 東住クラブ S17, 3. 23
職業 京王帝都電鉄
- 2 家族構成 4人 妻、長男8才、次男4才
- 3 テニス歴 硬式4年ぐらい
- 4 趣味 読書、ハイキング

